

【第4次高畠町地域福祉計画・高畠町地域福祉活動計画 指標の達成状況】

■基本計画1 ■ 人と人がふれあう福祉コミュニティづくりの推進

番号	①項目	②現状値 (2018年度)	③目標値 (2023年度)	④実績 2019 令和元年度	⑤現状値 との比較	⑥目標値 との比較	⑦達成度	⑧根拠	⑨所管
1	世帯の自治会加入率	93.4%	現状維持	92.3%	△1.1%	△1.1	×	町民課資料による	町民課
2	集落座談会・学集会 を開催した集落数	40集落 ※29 (2018)年度 までの開催 集落数	55集落 〈目標値〉 1年で3集 落増を目指 す	42集落	2集落	△1	×	社会福祉協議会 資料による	社会福祉 協議会
3	除排雪活動に継続し て取り組む集落数	14集落 ※29 (2018)年 度までの活 動集落数	29集落 〈目標値〉 1年で3集 落増を目指 す	16集落	2集落	△1	×	〈現状値〉 第3次取組み状 況より	社会福祉 協議会
4	ご近所付き合いで、と ても親しく付き合っ ている、わりと親しく 付き合っている人の 割合	63.6%	増加	74.0%※	10.4%	—	—	H29(2018)年度 町民アンケート 調査による	福祉こど も課
5	地区の支え合いの状 況について、地区で暮 らしやすくなるよう に取り組んでいる人 が多いといつも感じ る人の割合	12.8%	増加	31.5%※	18.7%	—	—	H29(2018)年度 町民アンケート 調査による	福祉こど も課

※地域福祉シンポジウム・立教大学交流連続講座参加者へのアンケート調査による（73人回答）

■基本計画2 ■ 地域支えあいの充実

番号	①項目	②現状値 (2018年度)	③目標値 (2023年度)	④実績 2019 令和元年度	⑤現状値 との比較	⑥目標値 との比較	⑦達成度	⑧根拠	⑨所管
1	地区の支え合いの状況について、住民同士のつながり、支え合いをいつも感じる人の割合	26.3%	増加	52.1%※	25.8%	—	—	H29(2018)年度町民アンケート調査による	福祉こども課
2	地区の支え合いの状況について、地区で暮らしやすくなるように取り組んでいる人が多いといつも感じる人の割合	12.8%	増加	31.5%※	18.7%	—	—	H29(2018)年度町民アンケート調査による	福祉こども課
3	地域活動やボランティアに、積極的に参加している、ときどき参加している人の割合	38.3%	増加	41.1%※	2.8%	—	—	H29(2018)年度町民アンケート調査による	福祉こども課
4	ボランティアセンター登録者数	1,751人 ※29 (2018)年度までの登録数	1,850人 〈目標値〉 1年で20人増を目指す	1,794人	43人	43人増	◎	〈現状値〉 第3次取組み状況より	社会福祉協議会
5	主に地域福祉活動を実践するボランティア団体	13団体	増加	13団体	±0団体	±0団体	×	社会福祉協議会資料による	社会福祉協議会
6	住んでいる地区に愛着が「とてもある」人の割合	31.1%	増加	38.4%※	7.3%	—	—	H29(2018)年度町民アンケート調査による	福祉こども課

■基本計画3 ■ いつまでも健やかで心豊かに生活できる環境づくり

番号	①項目	②現状値 (2018年度)	③目標値 (2023年度)	④実績 2019 令和元年度	⑤現状値 との比較	⑥目標値 との比較	⑦達成度	⑧根拠	⑨所管
1	ストレスに対処できる人の割合	81.8% ※27 (2015)年度)	85%以上 ※2025年度	80.5% ※R1 げんき アンケート 調査	△1.3%	△4.5%	×	高島町健康増進 計画 H28(2016)によ る	健康長寿課
2	運動習慣者の割合	男性 27.2% 女性 22.0% ※27・ 2015)年 度)	男性 36%以上 女性 33%以上 ※2025年度	男性 34.62% 女性 29.1% ※R1 げんき アンケート 調査	男性 7.42% 女性 7.1%	男性 △1.38% 女性 △3.9%	×	高島町健康増進 計画 H28(2016)によ る	健康長寿課
3	適正体重を維持する人の割合	男性 68.8% 女性 73.5% ※27 (2015)年 度)	男性 72%以上 女性 81%以上 ※2025年度	男性 66.5% 女性 74.1%	男性 △2.3% 女性 0.6%	男性 △5.5% 女性 △6.9%	×	高島町健康増進 計画 H28(2016)によ る	健康長寿課
4	健康づくり関連団体 参加している(参加 したことがある)人 の割合	9.0%	増加	20.5%※	11.5%	—	—	H29(2018)年度 町民アンケート 調査による	福祉こども 課
5	健康づくりに関する 活動に参加している (参加したことがあ る)人の割合	8.2%	増加	23.3%※	15.1%	—	—	H29(2018)年度 町民アンケート 調査による	福祉こども 課

■基本計画4 ■ 未来を築く子どもが健やかに育つための環境づくり

番号	①項目	②現状値 (2018年度)	③目標値 (2023年度)	④実績 2019 令和元年度	⑤現状値 との比較	⑥目標値 との比較	⑦達成度	⑧根拠	⑨所管
1	この地域で子育てをしたいと思う親の割合	4ヶ月健診 98% 1.6健診 96% 3.6健診 96.3% ※29 (2017)年度	増加	4ヶ月健診 93.6% 1.6健診 96.8% 3.6健診 97.5% ※R1(2019) 年度	4ヶ月健診 △4.4% 1.6健診 0.8% 3.6健診 1.2%	4ヶ月健診 △4.4% 1.6健診 0.8% 3.6健診 1.2%	4ヶ月健診 × 1.6健診 ◎ 3.6健診 ◎	乳幼児健康診 査必須問診項 目実績による	健康長寿課
2	育てにくさを感じた時に相談先を知っているなど、何らかの解決方法を知っている親の割合	4ヶ月健診 100% 1.6健診 85.7% 3.6健診 81.4% ※29 (2017)年度	増加	4ヶ月健診 83.3% 1.6健診 90.9% 3.6健診 80.3% ※R1(2019) 年度	4ヶ月健診 △16.7% 1.6健診 5.2% 3.6健診 △1.1%	4ヶ月健診 △16.7% 1.6健診 5.2% 3.6健診 △1.1%	4ヶ月健診 × 1.6健診 ◎ 3.6健診 ×	乳幼児健康診 査必須問診項 目実績による	健康長寿課
3	子育てボランティアの養成	0人	増加	4人	4人	4人増	◎	新規	福祉こども課

■基本計画5 ■ 必要な支援を包括的につなぎ、つなげる体制の充実

番号	①項目	②現状値 (2018年度)	③目標値 (2023年度)	④実績 2019 令和元年度	⑤現状値 との比較	⑥目標値 との比較	⑦達成度	⑧根拠	⑨所管
1	地域支え合いマップ を作成した集落数	39集落 ※29 (2018)年 度までの作 成集落数	54集落 (目標値) 1年で3集落 増を目指す	40集落	1集落	△2集落	×	〈現状値〉 社会福祉協議会 資料による	社会福祉協 議会
2	生活支援体制整備協 議体※の設置(地区 数)	—	全地区	0	±0集落	△6地区	×	老人福祉計画・ 介護保険事業計 画(第7期)に よる	健康長寿課
3	常日頃より、行政と 住民が協働して取り 組むべきであると答 える人の	51.9%	増加	75.3%※	23.4%	—	—	H29(2018)年度 町民アンケート 調査による	福祉こども 課
4	社会福祉協議会の名 称、活動をよく知っ ている人の割合	12.6%	増加	56.2%※	43.6%	—	—	H29(2018)年度 町民アンケート 調査による	社会福祉協 議会

■基本計画6 ■ 地域で誰もが安心して暮らせる快適な環境づくり

番号	①項目	②現状値 (2018年度)	③目標値 (2023年度)	④実績 2019 令和元年度	⑤現状値 との比較	⑥目標値 との比較	⑦達成度	⑧根拠	⑨所管
1	自主防災組織数	99 集落 99 組織	全集落	122 集落中 112 集落 (R2.3.31)	23 集落	△10 集落	×	第3次取組み状況より	総務課
3	地区の支え合いの状況について、困った時には、助けてもらえる安心感をいつも感じる人の割合	17.3%	増加	37.0%※	19.7%	—	—	H29(2018)年度町民アンケート調査による	福祉こども課
4	地区の支え合いの状況について、暮らしている地区は安心・安全といつも感じている人の割合	31.0%	増加	35.6%※	4.6%	—	—	H29(2018)年度町民アンケート調査による	福祉こども課
5	住民が互いに助け合う関係の必要性について、あったほうがよい人の割合	75.7%	増加	84.9%※	9.2%	—	—	H29(2018)年度町民アンケート調査による	福祉こども課

■基本計画7 ■ 一人ひとり誰もが尊重され大切にされる環境づくり

番号	①項目	②現状値 (2018年度)	③目標値 (2023年度)	④実績 2019 令和元年度	⑤現状値 との比較	⑥目標値 との比較	⑦達成度	⑧根拠	⑨所管
1	児童・高齢者・障がい者虐待の認定件数	児童 11件 高齢者 3件 障がい者 0件	減少	児童 28件 高齢者 14件	児童 17件 高齢者 11件 障がい者 ±0件	児童 17件増 高齢者 11件増 障がい者 ±0件	児童 × 高齢者 × 障がい者 ◎	第3次取組み状況より	福祉こども課 健康長寿課
2	虐待の可能性がある家族がいた場合の行動で、どうしてよいかわからない、何もできない、何もしない人の割合	32.6%	減少	2.7%※	△29.9%	—	—	H29(2018)年度町民アンケート調査による	福祉こども課